

国際学会 2011 年第 3 回研究会報告書

代表者：神岡太郎（国際 CIO 学会会長、一橋大学商学研究科教授）

日時：2011 年 4 月 28 日(木) 17:30-20:00

場所：一橋大学商学研究科 丸の内産学連携センター（丸ビル 10F）

タイトル：「情報システムと災害に関する自由な雑談会」

参加者数：13 名

<内容>

第 3 回研究会は、情報システムに責任をもつ立場から、今回の東日本大震災をどのようにとらえたのかということを中心に自由に議論してもらおう意図で、短い告知期間での緊急の研究会として開催され、日本 CIO 協会からも参加していただいた。

講演者の発表を中心とする通常の研究会の形式と異なり、今回は、議論に重きをおいた研究会を行った。ただし、方向性が全くないと議論がしにくいので、2 つのまとまった話をいただいた。一つは、今後心配されている首都圏震災に置き換えた場合の問題点や講じなければならない施策について内田勝也氏（情報セキュリティ大学院大学名誉教授）から、もう一つは、ご自身の米国 9.11 での経験と今回の災害で、事前に準備していた対策が現実にはどう機能したのかについて双日株式会社の赤司一郎氏からである。全体を通して話題となったのは、すべて記載できないが、例えば、クラウドコンピューティングの利用、想定される範囲の意味、官民一体となった対策や情報の統一化、電源の問題、コミュニケーションの手段、リスク分散等である。

今後、継続してこのテーマについて研究会等を行うこと、この課題について本学会としても社会に対して何らかの提言を行うこと等について確認がなされた。なお、本研究会は講演者、参加者の了解をいただき、その様子を短いビデオクリップにまとめるために、録画が行われた。10 分程度のビデオクリップにして Youtube 等で紹介される予定である。

